

虐待事件等における入院患者意向調査ツール



2021年5月17日

発行：公益社団法人日本精神保健福祉士協会

編集：公益社団法人日本精神保健福祉士協会
精神医療・権利擁護委員会

1. 目的・意義

精神科病院における虐待事件等、入院されている方に対して不適切な処遇が発生した際、不適切な処遇を受けたり、目撃したり、その場に居合わせたりした当事者（以下、「本人」という。）は、自身の意向や希望・不満や苦情などを表出できないことが容易に予測できる。そのため、第三者機関の調査員（以下、「調査員」という。）によって、本人のニーズ把握に努め、不適切な処遇の再発防止及び適切な対応の促進を図るために調査を行うことが望まれる。そのための一助となるべく、公益社団法人日本精神保健福祉士協会精神医療・権利擁護委員会では、本人の意向調査のための「虐待事件等における入院患者意向調査ツール（以下、「本ツール」という。）＜アセスメントシート、意向調査シート及びインタビューガイド＞」を作成した。本人に対して行う意向調査は、本人の安全が確保された中で、安心して自身の意向や希望を述べる機会を保障するものであり、当該病院職員以外にも支援者が存在することを本人に知らせることを可能とする。しかし、限られた時間や場所で本人の気持ちを聴き取るためには、事前の準備を含め、一定の枠組みが必要であると考え、本ツールを作成した。

さらに、本ツールは、精神科病院や入所施設等において、本人の意向に沿った支援が行われているか、権利侵害が起こっていないかどうかを確認するためのツールにもなりうる。精神科病院や入所施設等で過ごしている方の権利擁護のための指針の一つとして広く活用されることを期待している。

2. 事前準備

1) 当該病院職員へのアセスメントシートへの記入依頼

本人の今後の生活支援（退院・転院を含む）を行う上で必要となる本人の基本情報について、事前に当該病院職員にアセスメントシートの記入を依頼する（事前送付等の方法を用いる）。本人には、聴き取り調査開始時に（記入済の）アセスメントシートを見てもらい、間違いがないかどうか確認する。アセスメントシートは、今後の本人支援の方針検討の際に参考となる基礎資料ともなるため、不明な項目がある場合は不明なままにせず、手帳、介護認定等が空欄の場合は、医師意見書の有無などを確認し、場合によっては家族や行政担当課等に確認する等して記入してもらうよう依頼しておく。空欄が多い場合これまで十分に支援がなされていない可能性があるため、聴き取り調査時には、より一層の注意を要する。また、書かれている内容と本人の認識に大きなずれがある場合は、その旨を意向調査シートの「調査員所感（その他の所見）」欄に記載する。

2) 退院請求や処遇改善請求の請求先が記載された用紙の用意

調査員による本人への聴き取り調査の際に、退院請求や処遇改善請求について知っているかどうか確認する項目があるが、その際に本人から請求を行いたいという意向が確認された際には、速やかに情報提供ができるよう、それらの請求先が書かれた用紙を持参するか、もしくは当該病院職員に事前に用意してもらうように依頼しておく。

3. 調査員による聴き取り調査

当該病院とは無関係の第三者機関の調査員によるインタビュー形式の聴き取り調査を行う。所属や経験の違う複数の調査員が担当することが想定されるため、本ツールを用いることにより、調査の同一性と、一定の質を担保することを可能とする。

なお、意向調査シートは項目を埋めることが目的ではなく、本人の思いを組み取り、ニーズを把握するよう留意する。そのためには、言語として表出されるものだけでなく、非言語的な表出にも注意を払い、その背景にあるものを推察しながら、臨機応変に聴き取りを行う必要がある。また、調査においては必ずしも項目の順番通りに聴取できるとは限らないため、シートの□部分をチェックボックスとして活用することも可能である。

1) 挨拶、自己紹介、調査意図の説明

調査員から自己紹介を行い、本人に面接の意図を説明する。

意図：安心して調査に臨んでいただけるよう、調査内容を当該病院職員には伝えないこと（秘密保持）、調査員は本人を助きたい・力になりたいと考えていることなどのメッセージを伝える。緊張をほぐすため、できるだけ柔らかい表情や声色で安心感を与える工夫をする。

インタビュー

「こんにちは。私は、〇〇調査でやってきた□□です。今日は、調査にご協力いただきありがとうございます。体調はいかがですか？ もし、途中で気分が悪くなれば、調査を中断しますので、遠慮なくおっしゃってくださいね。」

「私は、〇〇さんのお力になりたいと思っています。これから、いくつかの質問をさせていただきますが、言いたくないことは答えなくて構いません。答えなくても不利益になることはありません。」

「お聞きした内容は、△△（当該病院）の職員にお伝えすることはありません。安心してお話しください。」

「（アセスメントシートを見せて）あなたの個別の状況は、事前に職員の方をお願いをして確認させていただきました。ここに書かれていることに間違いはありませんか？」

「これから、あなたに質問をして聞き取ったことを、私がこの用紙（意向調査シートを見せる）に記入させていただきます。」

「何かご不明な点、お聞きしたいことはありませんか？」

「では、質問を始めます。」

2) 入院生活の実際と本人の希望確認

①入院中の困りごとについて

意図：現在本人が置かれている環境の中で、本人が一番話したいことを話してもらえようオープンクエスチョンで質問する。

インタビュー

「ここでの生活で、何か困っていることや、不便なこと、助けて欲しいことなどを教えてくださいませんか？」

②入院継続の意思と理由

意図：本人の入院の意思について確認する。

インタビュー

「入院の継続を希望しますか？」

「それは何故ですか？」

「入院期間はどのくらいと聞いていますか？」

③処遇改善等の意向

意図：漫然とした閉鎖処遇や、行きすぎた管理や制限等が行われていないかどうか確認する。

インタビュー

「現在は開放処遇ですか？ 閉鎖処遇ですか？」→本人がどう捉えているか具体的に聞く。

「現在の処遇に納得していますか？」

「それは何故ですか？」

「どうなってほしいと希望しますか？」

④通信・面会の希望

意図：本来自由であるはずの権利が侵害されていないかどうかを確認する。

インタビュー

「電話はかけたい時にかけることができますか？」→できない場合、具体的な状況を聞く。

「手紙を出したり、受け取ったりすることはできますか？」→できない場合、具体的な状況を聞く。

「面会がありますか？」→ない場合、理由を聞く。

「面会に来てほしい人はいますか？」→いる場合は具体的に聞く。

⑤外出の希望

意図：不必要な行動制限が行われていないかどうかを確認する。任意入院者の開放処遇制限も含む。

インタビュー

「最近、病院の外に出たのはいつごろですか？」→外出できていない場合、その理由を聞く。

「行きたい場所はありますか？」

「生活必需品（生活用品）やおやつなどの買い物はどうしていますか？」→買い物をする場所や回数、本人が買うものを選ぶことができているか等について聞く

⑥金銭に関する希望

意図：経済的虐待の有無について確認する。また、本人が自身の経済状況について知らされているかを確認する。

インタビュー

「年金などの収入はありますか？」

「通帳や現金は誰がどのように管理していますか？」

「どのように管理したいですか？」

「お小遣いとして、月いくらくらい使えますか？」

⑦所持品に関する希望

意図：生活必需品や趣味活動において不必要に制限されていないかどうかを確認する。

インタビュー

「洋服やタオルなどが少なくて困っていませんか？」

「その他、生活必需品や趣味の活動を行うために持ちたいものがあるのに持たせてもらえなくて困っている物はありませんか？」

⑧虐待に関する事項（隔離・拘束）

意図：違法な行動制限が行われていないかどうか確認する。

インタビュー

「説明や理由なく、部屋に鍵をかけられたことはありますか？」

「説明や理由なく、手足を縛られたことはありますか？」

「処遇改善請求を知っていますか？」

→知らないが内容を知りたいと答えた場合

調査員が、退院請求及び処遇改善請求の請求先が書かれた文書を手渡し、処遇改善請求について説明する。本人が、当該病院の精神保健福祉士等を信頼できると話された場合は、調査員から当該病院の精神保健福祉士等にそのことを伝えて、後で説明してもらうこともできると伝える。

⑨虐待に関する事項（隔離・拘束以外）

意図：暴言・暴力・無視・ネグレクト・性的虐待・スピーチロック・ドラッグロック・タイムロック等の虐待被害について確認する。ただし、トラウマ体験となっていることも想定されるため、本人の表情やしぐさ等を十分観察し、話したくない場合に話さなくてもよいという選択肢を改めて示すなどの配慮が必要である。

インタビュー

「叩かれたり、蹴られたりしたことはありますか？」

「叩く真似や蹴る真似をされたことはありますか？」

「大きな声で怒鳴られたことはありますか？」

「傷つくような言葉や、馬鹿にするようなことを言われたことはありますか？」

「明らかに、他者と差別をされたことがありますか？」

「無視をされたことがありますか？」

「話を聞いてほしいのに、『ちょっと待って』等と言われ、一向に話を聞いてもらえないことはありますか？」

「それは『ダメ』等と一方的に行動を制止されたことはありますか？」

「拒否しているのに無理やり薬を飲まされたことはありますか？」

「他の人が見ている前で衣類を脱がされたことはありますか？」

「必要がないのに体や髪の毛に触れられたことはありますか？」

「性行為を迫られたことはありますか？」

「食事を与えられなかったことがありますか？」

「衣類などが汚れているのに取り替えてもらえないことがありますか？」

「他の方が、嫌なことをされるのを見たり、聞いたりしたことはありますか？」

→聞ける範囲で具体的な状況を確認する

3) 退院に関する希望確認

①退院に関する困りごとについて

意図：現在本人が置かれている環境の中で、本人が一番話したいことを話してもらえるようオープンクエスチョンで質問する。

インタビュー

「退院に関して、何か困っていることや、助けて欲しいことなどを教えていただけますか？」

②退院希望の有無

意図：退院の意向について具体的に確認する。

インタビュー

「退院したい気持ちはありますか？」

→「退院したいができない」と答えた場合、できないと思う理由を聞く。

→「退院したくない」と答えた場合、その理由を聞く。

「2～3年後は、どこで暮らしていきたいですか？」

「何があれば、退院できると思いますか？」

「退院請求について知っていますか？」

→「はい」と答えた場合

「退院請求を出したことがありますか？」

→ある場合、その結果。ない場合、出さなかった理由を聞く。

→知らないが内容を知りたいと答えた場合

調査員が退院請求及び処遇改善請求の請求先が書かれた文書を手渡し、退院請求について説明する。本人が、当該病院の精神保健福祉士等を信頼できると話された場合は、調査員から当該病院の精神保健福祉士等にそのことを伝えて、後で説明してもらうこともできると伝える。

③転院希望の有無

意図：転院の意向について具体的に確認する。

インタビュー

「他の病院に移りたいと思うことはありますか？」

→「転院したいができない」と答えた場合、できないと思う理由を聞く。

→「転院したくない」と答えた場合、その理由を聞く。

→ある場合、具体的に聞く。

「どこの（どのような）病院に移りたいですか？」「それは何故ですか？」

④退院・転院に関する不安

意図：退院等の希望を口にする事で、本人にとって不利益が生じることや、実際に退院する際の阻害要因となりうる事柄について確認する。

インタビュー

「退院できない理由は何だと思えますか？」

「退院できない理由をどのように説明されていますか（聞いていますか）？」

「もし退院したいと希望した場合、誰か反対する人がいると思えますか？」

「もし退院することになった場合、不安なことや心配なことがありますか？」

⑤退院・転院への支援の希望

意図：支援者の有無や支援の希望について確認する。

インタビュー

「退院や転院したいと思った時に、相談できる人はいますか？」

→いる場合は、誰に相談するかを聞く。いない場合は、相談できる人がいれば相談したいと思うかどうか聞く。

4) 終わりの挨拶

意図：聴き取り調査を終えるにあたり、調査によって知り得た秘密が守られること、調査が本人にとって不利益とならないことなどを改めて伝え、調査によって生じうる不安の軽減を図り、調査協力への感謝を伝える。

インタビュー

「長時間、ご質問にお答えいただきありがとうございました。」

「ここでお話しされたことは、〇〇（当該病院）の職員にはお伝えしませんのでご安心ください。」

「〇〇（当該病院）の職員に伝えて欲しいことがあれば教えてください。」

「何か、ご質問はありますか？」

「一日も早く、あなたの望む生活が実現することを祈っています。」

5) 家族等の意向

家族や後見人等、本人の今後の支援に関わる人の意向について、あらかじめ確認できれば記載する。

意図：退院・転院などに関する家族等の意向をあらかじめ確認しておくことで、本人の退院支援につなげる。

インタビュー

「ご本人の希望と併せて、ご家族の意向もお聞きし、今後の支援の参考にさせていただきたいと思います。何かご希望はございますか？」

「ご本人が退院を希望された場合、一緒に生活することはできますか？」

「様々な機関が協力して地域生活をサポートすることができますが、1人暮らしをすることについて、どうお考えになりますか？」

「ご本人が転院を希望した場合、検討してほしい転院先がありますか？」

6) 調査員所感について

調査を通じて、調査員が感じた印象や本人の様子・可能性などについて具体的に記載する。

意図：不適切な処遇の影響や病状・障害特性などから、意思の言語的な表出が困難な方もいることが想定される。インタビューの回答としては得られなかったとしても、調査員が気づいたことについて記すことで、虐待の発見や、今後の支援につなげることができる。

①身体的所見

身体的虐待で起こりうる痣や傷の有無、整髪や衣類など整容に関するケアが提供されているかなど、身体的な観察から気付いたことを記載する。

②退院等に関する所見

調査員が感じた退院等の支援の可能性について記載する。

③処遇に関する所見

調査員が感じた処遇に関する印象について記載する。

④その他の所見

本人の仕草・目線・体の震えなど、非言語コミュニケーションにより表出される不安・緊張などについて記載する。また、アセスメントシートの記載内容と本人の認識に大きなずれがある場合は、その内容を記載する。その他、調査員が気になった場面や特記すべき内容を記載する。

【アセスメントシート】

※調査日時・調査員氏名・所属は調査時に調査員が記載します

調査日時(年 月 日) 調査員氏名() 所属()

対象者氏名	生年月日		年	月	日	性別					
住所											
入院年月日	年		月	日							
入院形態	任意・医療保護・措置・その他()										
健康保険証の種類	国保・健保・後期高齢・その他()・生活保護(管轄:)										
同意者					医療費支払い者						
キーパーソン	家族()・その他()										
面会の状況	主な面会者							家族構成			
	最終面会日(1週間以内、1か月以内、半年以内、それ以上)										
成年後見制度利用	あり(類型:後見・保佐・補助)・なし										
障害支援区分認定	あり・なし	区分(1・2・3・4・5・6)									
	有効期限		年	月	日						
	計画相談		あり・過去に利用歴あり・なし								
要介護認定	あり・なし	要支援(1・2) 要介護(1・2・3・4・5)									
	有効期限		年	月	日						
	介護支援専門員		あり・過去に利用歴あり・なし								
その他支援者	あり()・過去に利用歴あり()・なし										
障害年金	あり(障害基礎・障害厚生・障害共済・その他)・なし						等級	級			
	管理者	本人・病院・家族・その他()									
精神障害者手帳	あり・なし	等級	級	有効期限	年	月	日				
身体障害者手帳	あり・なし	種類(視覚・聴覚・言語・上肢・下肢・体幹・その他:)									
	等級	級									
療育手帳	あり・なし	等級	A・B1・B2								
ADL・IADL (能力でお答えください)	歩行	自立・杖歩行・歩行器・車椅子・その他()									
	排泄	自立・要介助		金銭管理	自立・要介助(病院管理・家族管理・その他)						
	食事	自立・要介助		電話(架電)	自立・要介助						
	視力	配慮の必要あり・なし		聴力	配慮の必要あり・なし						
入院主病名				主治医							
合併症											
入院病棟			閉鎖・開放	担当精神保健福祉士							
行動制限	現在あり(通信面会・隔離・身体拘束・開放処遇制限) 3か月以内にあり(通信面会・隔離・身体拘束・開放処遇制限)・なし										

【意向調査シート（表面）】

対象者氏名（ ） 調査日（ 年 月 日） 調査員（ ）

本人の希望	※下記のような項目に関して本人の希望を確認し、具体的に記載する ※虐待を受けたと話された場合は、虐待の内容・それによる心身への影響など詳細に記載する 【本人から語られた困りごと等について】
	<input type="checkbox"/> 入院継続の意思と理由（ここは怖いので一日も早く退院したい、他に行くところがないのでここにいたい等）
	<input type="checkbox"/> 処遇改善等の希望（閉鎖病棟にいるが開放病棟へ移りたい、開放処遇なのに1人で外出させてもらえない等）
	<input type="checkbox"/> 通信・面会の希望（電話をかけたいのにかけさせてもらえない、家族に会いたい、支援者に来てほしい等）
	<input type="checkbox"/> 外出の希望（何年も病院の外に出ていないので外に出たい、自分でお店に行って買う物を直接選びたい等）
	<input type="checkbox"/> 金銭に関する希望（現金を持たせてもらえない、預貯金がいくらあるのか知らないので通帳が見たい等）
	<input type="checkbox"/> 所持品に関する希望（何年も同じ物を着ているので新しい服が欲しい、洋服を自分で選びたい、時計を持ちたい等）
	<input type="checkbox"/> 虐待に関する事項（入浴を拒否したら足を蹴られた、「うるさい!」「早くしろ!」と大きな声で言われるのが怖い等）
	<input type="checkbox"/> その他
	家族等の希望など
<input type="checkbox"/> 支援者がいる場合、支援の状況と、支援者の意見について確認できれば記載する	

【意向調査シート（裏面）】

退院希望	<p>※退院・転院希望については、誰とどこに住みたいのか等、具体的に確認し記載する。 ※退院請求権について知っているか、出したこと・出そうとしたことがあるか等も確認する。</p> <p>【本人から語られた困りごと等について】</p>
	<p><input type="checkbox"/> 退院希望の有無（ここは怖いので一日も早く退院したい、退院したいが帰る場所がない、家族と一緒に暮らしたい等）</p>
	<p><input type="checkbox"/> 転院希望の有無（退院は不安だが他の病院に移りたい、遠くには行きたくない等）</p>
	<p><input type="checkbox"/> 退院・転院に関する不安（退院したいと言うと先生に怒られる、知らないところに行くのが怖い等）</p>
	<p><input type="checkbox"/> 退院・転院への支援の希望（退院したいがどうすればいいのかわからないので、誰かに手伝ってほしい等）</p>
調査員所感	<p><input type="checkbox"/> 調査員が感じた本人の印象・面接の様子・支援の可能性等について記載する</p> <p>【身体的所見】（長らく散髪されていない様子だった、虐待は受けていないと話したが手足にあざがみられた、非常に痩せが目立っていた等）</p>
	<p>【退院等に関する所見】（在宅サービスの利用で1人暮らしを目指す事ができるのではないかと、介護施設への入所が検討できるのではないかと等）</p>
	<p>【処遇に関する所見】（金銭管理は病院が行っているが、年金額や欲しいものの金額が分かっており、自己管理が可能だと思われる）</p>
	<p>【その他の所見】（不安が強い様子でずっと下を向いて震えていた、主治医や病棟スタッフに遠慮している様子が伺えた、一刻も早く退院したいと希望されており切迫性を感じた、本人からの発語は一切なかった等）</p>